

令和6年度習志野市防災会議 会議録

1. 開催日時

令和7年2月7日(金) 午前10時00分～午前11時30分

2. 開催場所

習志野市庁舎3階 ABC会議室

3. 出席者

別添名簿のとおり

4. 報告及び審議

報告第1号 委員の変更について

報告第2号 令和6年度習志野市総合防災訓練の成果について

報告第3号 習志野市地域防災計画の一部修正について

議案第1号 令和7年度習志野市総合防災訓練の実施方針(案)について

5. 会議資料

別添資料のとおり

資料1 報告第1号 委員の変更等

資料2 報告第2号 令和6年度習志野市総合防災訓練(大地震想定)の成果について

資料3 報告第3号 習志野市地域防災計画の一部修正について

資料4 議案第1号 令和7年度習志野市総合防災訓練の実施方針(案)

6. 議事内容

【宮本会長】

＜令和6年度習志野市防災会議の開会を宣言＞

本会議は、「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」により、原則公開となっている。

なお、本日の内容に非公開となる事項はない。

会議録については、要点筆記とし、会議名、日時、場所、出席者氏名、会議概要、発言委員名を記載したうえで、市ホームページ及び市役所グラウンドフロアの情報公開コーナーにおいて公開する。

会議録署名委員として、川谷 聡 委員(本大久保ホームタウン自治会自主防災会会長)及び中村 昇司 委員(元香澄地区自主防災組織連絡協議会会長)を指名する。

○報告第1号 委員の変更について

【安田危機管理課長】

委員の変更について報告する。

資料1を御覧いただきたい。

黄色でマークしている委員（関係機関5名、市職員8名）が前回会議以降に新たに委員となった。

○報告第2号 令和6年度習志野市総合防災訓練の成果について

【安田危機管理課長】

昨年11月24日に実施した令和6年度習志野市総合防災訓練の成果について報告する。

資料2を御覧いただきたい。

はじめに、成果の全般について報告する。

今回の訓練は、大地震想定による「災害時の行動や活動の習得」と、市民・市役所・関係機関の連携による「自助・共助・公助の確認」及び地域間でのコミュニケーションによる「地域住民間の顔見知り関係の構築」を目的とし、市立小・中・高等学校23箇所及び県立高等学校2箇所の会場で、市民約2,700人の参加と関係機関約600人の協力をいただき実施した。

訓練内容としては、市民初動として、自宅における自分自身の安全確保や通電火災の防止要領の確認、町会等による安否確認を実施した。

その後、避難所となる学校へ移動し、体育館での避難生活のためのパーテーションやベッドの組み立てや簡易トイレ、バルーンライトなどの防災資機材の取り扱い訓練及び運営を実施し、最後に、関係機関からの御支援をいただき個別課目訓練を実施した。

また、市として初めて、全ての会場でペット同行避難を行い、16会場において、計42匹の犬や猫を受け入れるとともに、千葉市消防局との共同訓練として、ヘリコプターによる吊り上げ救助を実施した。

次に、6ページ目の「総合防災訓練成果:その6」を御覧いただきたい。

課題については、大きく3つと認識している。

1つ目は、避難所施設の確保についてである。

高齢者の方や足の不自由な方は、階段を移動するのに苦労されていた。

このことから、昨年11月に全ての公立中学校の体育館1階を避難所として指定した。

詳細については、報告第3号「習志野市地域防災計画の一部修正」にて報告する。

2つ目は、職員の識能、3つ目は、ペット同行避難である。

避難所におけるペットの対応については、ペットの飼養方法や飼養スペースの環境等、多くの御意見をいただいた。

今後、訓練結果を精査し、改善を図っていく。

○報告第3号 習志野市地域防災計画の一部修正について

【安田危機管理課長】

主要な修正内容としては、大きく4点ある。

1つ目は、第一避難所における避難施設対象範囲の拡大についてである。

地域防災計画において、これまで第一避難所である市立中学校は、体育館2階アリーナ及び1階柔剣道場を避難施設と指定していた。

このような中、避難所開設時の課題として、要配慮者が階段で2階アリーナへ上がることが困難であること、要配慮者が一日に何度も階段を昇り降りしなくてはならないこと、また、習志野市防災アセスメント調査に基づく、最大数の避難者が発生した場合、2階アリーナと1階柔剣道場では収容が不足する可能性があること等が想定される。

これらの課題を解消するべく、昨年11月に市立中学校の体育館1階及び2階の全面を避難施設として指定した。

2つ目は、補助避難所の追加についてである。

令和6年4月より、向山こども園、青葉保育園が開園、令和7年4月1日に藤崎こども園が開園予定であることに伴い、3施設を補助避難所として指定した。

また、現在調整中であるが、昨年8月16日に本市に台風7号が接近した際、避難者の熱中症発症リスク等を考慮して、「実籾コミュニティホール」と「市民プラザ大久保」を補助避難所として仮指定し、「実籾コミュニティホール」を避難所として開設した。

今後、関係機関との調整が終わり次第、正式に2施設を補助避難所として指定する。

なお、本市としては、今後も空調設備が整備されている施設を優先的に避難所として開設できるよう調整する。

3つ目は、今年度締結した災害時応援協定一覧についてである。

締結済みのものは2つであり、1つ目は「千葉県石油協同組合 習志野支部」との「災害時における燃料供給に関する協定」、2つ目は、「東京インテリア家具」との「災害発生時における帰宅困難者の受入等に関する協力協定」である。

また、その他3団体と令和6年度中の協定締結に向けて調整中である。

4つ目は、第3給水場の廃止についてである。

現行の地域防災計画では、東習志野にある第3給水場は、非常用給水施設として、災害時に水を提供する施設となっている。

第2次習志野市水道事業経営戦略に基づき、第3給水場は令和6年度末までに機能停止となることから、地域防災計画より、第3給水場を非常用給水施設一覧から削除する。

廃止理由は、主に2点ある。

1点目は、第3給水場は昭和52年に竣工していることから、老朽化が進んでおり、更新時期を迎えているため。

2点目は、習志野市企業局の水道事業における1日最大配水量は平成4年度をピークに配水量及び第3給水場の稼働時間が減少傾向であるため。

なお、第3給水場停止後は、第1給水場の送水機能を転用し、第3給水場の配水機能の代替えとする予定となっている。

次に5ページをご覧ください。

その他の修正について、総則編から大規模事故編については、上位法令等の改正に伴う各部局からの意見や機構改革に伴う、災害対策業務等の変更及び修正を行っている。

資料編については、こども園等の施設の新設・閉鎖や自主防災組織の新設及び要配慮者利用施設一覧の更新に伴う修正等を行っている。

【宮本会長】

報告第1号から第3号について、質疑無しのため、報告については終了とする。

○議案第1号 令和7年度習志野市総合防災訓練の実施方針(案)について

【安田危機管理課長】

令和7年度習志野市総合防災訓練(大地震想定)の実施方針案について説明する。

総合防災訓練は、災害時における防災活動を円滑に行うため、関係機関と連携し、適切な時期に実施することとしている。

目的としては、今年度と同様に、大地震を想定した訓練とし、「災害時の行動や活動の習得」と「自助・共助・公助の確認」及び、「地域住民間の顔見知り関係の構築」として、今年度の総合防災訓練で得た成果・課題をもとに、引き続き、市民参加型の訓練を実施する。

また、防災訓練のバイアスにとらわれずに、楽しみながら防災の理解を深めることが出来る訓練を検討する。

次に、実施日については、令和7年11月16日(日曜日)を予定している。

訓練会場については、避難所となる公立小学校16箇所、中学校7箇所、高等学校3箇所の計26会場で調整を行う。

訓練項目及び内容等については、今年度と同様、5月頃に関係機関と調整を開始し、6月以降、小学校区ごとの町会へ事前説明会を実施する。

訓練参加予定の関係機関及び団体については、可能な限り、今年度協力いただいた機関に参加していただき、防災に係る専門的な知識を活かし、訓練実施のサポートをお願いしたいと考えている。

【宮本会長】

議案第1号について、質疑無しのため、本実施方針案で決定とし、審議については終了とする。

7. その他

○埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故に伴う本市の対応について

【古市下水道課長】

令和7年1月28日に埼玉県八潮市で発生した埼玉県が管理する流域下水道管の破損に起因する道路陥没の発生を受けて、国土交通省から下水道管路施設の緊急点検について、事務連絡があった。

国土交通省は、都道府県が管理する大規模な処理場に流れ込む下水道管の口径2メートル以上の下水道管路を緊急点検の対象としている。

本市が管理する下水道管路には対象となる施設はないが、今回の事故を受けて、主に口径2メートル以上の主要な役割を担っている幹線等について、令和7年2月3日に目視点検を自主的に実施した。

点検の結果、沈下・陥没等の異常は見受けられなかった。

今後も下水道施設の保全や周辺地域の安全確保のために適切な維持管理に努める。

○令和7年度習志野市防災会議の予定

【安田危機管理課長】

令和7年度の習志野市防災会議は、令和8年1月28日(水)を予定している。
また、来年度より、リモートによる開催も準備する。

○委員挨拶

【浦杉 敬助 委員(関東農政局千葉県拠点地方参事官)】

自己紹介

【鈴木 淳一郎 委員(千葉県葛南地域振興事務所長)】

来年度の習志野市総合防災訓練についても協力機関として参加し、連携を深めていきたい。

【安部 美香 代理委員(千葉県習志野健康福祉センター 副センター長)】

インフルエンザ等の感染症が流行しているため、手指消毒の徹底をお願いしたい。
災害時に、薬品や医療従事者が不足した場合には、システムを活用して、県へ要請を行う。

【篠永 通英 委員(千葉県企業局船橋水道事務所長)】

災害時に応急給水活動を円滑に行えるよう、習志野市との連携強化に努める。

【木内 俊介 代理委員(千葉県習志野警察署 警備課長)】

千葉県警察において、災害対応は重要な課題として取り組んでいる。
引き続き、各関係機関と協力して対応する。

【飯田 裕一 委員(習志野市消防団長)】

能登半島地震の教訓を活かした訓練を実施するとともに消防職員と連携して地域防災の向上に努める。

【小林 勝美 委員(日本郵便株式会社 習志野郵便局長)】

習志野市とは包括連携協定を結んでいる。災害時には状況に応じて協力する。

【植木 克弥 委員(東京電力パワーグリッド株式会社 京葉支社 支社長代理)】

災害時でも、当たり前で電気が使えるよう、迅速な復旧対応に努める。

【中村 健一 代理委員(東日本電信電話株式会社 千葉ブロック統括本部 災害対策室長)】

現在、千葉県と茨城県内の災害対策業務に携わっている。
引き続き、関係機関との連携強化に努める。

【小林 伸夫 委員(東日本旅客鉄道株式会社 津田沼営業統括センター所長)】

JR津田沼駅では、駅員及び駅構内の店舗従業員にて、年に1、2回防災訓練を実施している。

また、エレベーターの閉じ込めやエスカレーター停止時の対応についても年に1回行っている。

災害時は地域及び行政と連携して対応する。

【佐々木 啓友 委員(京成電鉄株式会社 京成津田沼駅長)】

災害時における駅の役割としては、帰宅困難者等を避難所まで誘導することであると考えている。

【川谷 聡 委員(本大久保ホームタウン自治会自主防災会 会長)】

要望が2点ある。

1点目は、習志野市防災マップについてである。

住民配布している習志野市防災マップは、平成30年1月版となっており、7年が経過しており、第4給水場、プラッツ習志野、そして本日報告のあった第3給水場廃止等の情報が反映されていない。

習志野市は、WEB 版防災ハザードマップも公開しているため、最新情報の確認はできるが、被災時にはインターネットの活用は困難である。

そのため、紙媒体での防災マップは必要であるとする。

防災マップを最新版に更新していただき、ホームページへの公開や希望者への配布を検討していただきたい。

2点目は、避難行動要支援者支援事業について、避難行動要支援者事業における避難行動要支援者名簿、避難支援計画及び緊急情報についての情報収集・保管、開示に関する改善をお願いしたところ、避難行動要支援者名簿については、令和8年度から自主防災組織に開示していただける方針となった。危機管理課を中心に調整いただき感謝している。

一方で、国が作成を努力義務としている個別避難計画については、救急情報の記載があるため、高度な情報を民生委員が収集する体制となっている。

危惧していることとしては、非常に高度な個人情報を担当地区の民生委員が、教育も受けずに自宅に保管している。

万が一、第三者が自宅に侵入して、情報が漏洩することがあれば、大きな問題となる。

問題が発生する前に、取得対象者や取得項目の削減など、対応を検討していただきたい。

【中村 昇司 委員(元香澄地区自主防災組織連絡協議会 会長)】

香澄地区の防災委員は、高齢化が進んでいるが、新役員の選出が困難となっている。

現状、活動の周知方法としては、紙媒体が多いため、自主防災組織の活動に若い世代も参加してもらえるよう、周知方法にデジタルを取り入れること等を検討している。

【畑中 宗憲 委員(前千葉工業大学教授)】

以前、千葉工業大学で勤めており、地盤工学を専門としていた。

東日本大震災にて、習志野市が液状化等の被害を受けたことから、防災会議委員へ選任されるようになった。

去年の能登半島地震では砂が堆積した「砂丘」において液状化の被害が集中して発生している。

今後についても、地盤工学等に関する知見を活かして、協力する。

【高橋 君枝 委員(習志野市民生委員児童委員協議会 会長)】

東日本大震災では、民生委員が発災直後に安否確認を実施したことにより、約50名が亡くなったという事例がある。

そのため、民生委員に、災害時は自身の安全確保を最優先にするよう周知している。

今後、民生委員災害対策部会の中で、危機管理課と協議しながら、民生委員の新たな活動方法について検討していく。

【土肥 洋子 委員(習志野市男女共同参画審議会 委員)】

災害時の男女共同参画の視点としては、避難所でのプライバシー確保が懸念されている。

習志野市では、大きな災害が少ないため、避難所運営の問題点が検証できていない。

今後、男女共同参画審議会の中で議題として取り上げていく。

【鎌田 尊人 代理委員(習志野市医師会 副会長)】

災害医療対策会にて、市健康支援課指導の下、薬剤師会や歯科医師会等の関係機関と協力しながら、市民が安心・安全なまちづくりを目指している。

【本宮 隆 委員(習志野市連合町会連絡協議会)】

令和7年2月2日(日)に市の協力を得て、谷津連合町会防災訓練を実施した。

防災対策については、机上で話合うことも重要であるが、実際に訓練を実施することが最も効果があると考ええる。

1点要望として、公共機関にあるAEDは鍵がかかっているため、緊急時に使用できない。

いつでもAEDを使えるように改善していただきたい。

【石川 大輔 委員(陸上自衛隊第1空挺団 第3普通科大隊長)】

今年度、第3普通科大隊は、鳥インフルエンザ対応を計3回行っている。

鳥インフルエンザ対応の処理速度について、一般の方は一夜かけて4000～5000匹、自衛隊が処理すると1時間で2000～3000匹、第一空挺団が処理すると1時間で10,000羽処理している。

このような強大な組織力を有しているため、有事の際には、市を全力で支援する。

【佐々木 秀一 委員(習志野市議会 議長)】

報告第3号の「第一避難所である中学校の避難施設対象範囲拡大」について、中学校の体育館全面が避難所となったことで防災力が向上したと感じる。

今後、体育館にはエアコンが設置されるため、避難所生活の質の向上が期待される。

4点要望がある。

1点目は、習志野高校柔剣道場へのエアコン設置を要望する。

2点目は、「プラッツ習志野」の体育館を補助避難所から第一避難所へ指定を変更し、災害時には優先的に避難所として開設していただきたい。

3点目は、避難所が2階にある施設については、エレベーターの設置を検討して欲しい。

4点目は、第3給水場廃止後の対応について詳しく教えていただきたい。

【齋藤 守 委員(習志野市歯科医師会 会長)】

避難所生活が長期化すると誤嚥性肺炎等の口腔環境の問題が出てくる。

歯科医師会では口腔ケアに関する備蓄を行っており、災害時には避難者等へ配布する体制を整えている。

【久保木 俊光 委員(習志野市薬剤師会 副会長)】

災害時には、市内の薬局より薬の供給ができる体制を整えている。

今年度の総合防災訓練に参加して感じたことは、海側に近い地域の防災意識が高かった。

一方で、内陸の地域は防災意識が低いように感じた。

来年度の総合防災訓練では楽しい訓練を企画し、参加者数を増やしていただきたい。

【田久保 浩一 委員(習志野市社会福祉協議会 会長)】

災害ボランティアセンターの設置・運営を円滑に行えるよう準備する。

【金子 みゆき 委員(千葉県助産師会 習志野・八千代・鎌ヶ谷地区部会長)】

3点要望がある。

1点目は、総合防災訓練時にテントを借りて、授乳室とおむつ交換スペースを作成したが、テントの上部が空いていたため、覗かれないよう工夫をしていただきたい。また、テントの生地が薄いためレジャーシートで覆うなどの対策が必要である。

2点目は、市として粉ミルクの備蓄がない。支援物資が届くには数日かかるため、備蓄があるとよい。

3点目として、災害時にスムーズな支援が行えるよう、市と千葉県助産師会による避難所運営訓練を実施したい。

【大出 智恵美 委員(習志野防災ネットワーク)】

総合防災訓練において、全会場で、ペット同行避難訓練を実施したことは非常に良いことである。

訓練結果を受けてバージョンアップを図ってほしい。

【鈴木 憲一 委員(習志野市消防長)】

災害は、大規模化、複雑化、多様化している。災害時には、消防本部及び消防団が連携して、被害の軽減に努める。

本宮委員より要望があった AED の設置場所については、今年度3月末までに、市立小・中・高等学校の屋内に設置している AED を屋外に移設予定としている。

【御山 俊行 委員(習志野市企業局工務部長)】

佐々木委員より質問のあった、第3給水場については、施設の老朽化と給水の減少に伴い、給水場の廃止に至った。

廃止により、地域防災計画上の応急給水拠点一覧からは削除されるが、施設解体後の空きスペースについては、今後も災害時の運搬・給水等のバックヤードとして活用することを検討している。

【渡辺 裕之 委員(習志野市企業局業務部長)】

習志野市企業局は市民のライフラインを守るという重要な責務を担っている。その為にも関係機関等と連携しつつ、計画的な施設の更新・強靱化に努める。

【府馬 一雄 委員(習志野市教育委員会生涯学習部長)】

生涯学習部所管の袖ヶ浦体育館は、補助避難所として指定されており、令和7年度にエアコンを設置する予定である。

佐々木委員より指摘のあったプラッツ習志野のエアコンに関しては、避難所に指定されていないことから令和7年度は予算計上されていないが、設計業務を行う予定としている。

【島本 博幸 委員(習志野市教育委員会学校教育部長)】

防災教育の強化として、危機管理課と連携して防災マニュアルを一新した。

地震災害は今起きるという前提で、各校避難訓練等に取り組んでいる。

また、第一避難所に指定されている市立小・中・高等学校については令和7年度中にエアコン設置を行う予定である。

佐々木委員より要望のあった習志野高校柔剣道場についても、エアコン設置を予定している。

一方で、高等学校は規模が大きく、体育館に併設するボクシング場等は避難所として財源面や収容面に課題があり、今回エアコン設置の予定はしていない。

市では習志野高校応援基金を設けており、皆様に寄付金等に協力いただくことで、財政面での課題解決になり方向性も見えてくるので、御協力いただければ幸いである。

【森野 繁 委員(習志野市都市環境部長)】

今年度の総合防災訓練で、市として初めてペット同行避難訓練を実施した。

来年度の総合防災訓練でも継続して実施する。

引き続き、災害時にペット同行避難が可能であることの周知に注力する。

【佐々木 博文 委員(習志野市こども部長)】

日中の災害発生時は、児童の安全確保及び保護者に安全に引き渡すことが重要であると認識しており、各災害種別に応じて、マニュアルを作成し、定期的な訓練を実施している。

引き続き、各職員の防災意識向上に努める。

【小平 修 委員(習志野市健康福祉部長)】

避難行動要支援者名簿の運用方法については、危機管理課と協議を行っている。

民生委員と高齢者相談員については、細心の注意を払い、適正な管理をしていただいているが、その分負担が大きくなっている

引き続き、運用について検討する。

【根本 勇一 委員(習志野市協働経済部長)】

災害時は、物資供給等に関して担当する。

避難所への物資供給を迅速に行えるよう努める。

【菅原 優 委員(習志野市政策経営部長)】

来年度当初予算は、史上 2 番目の764億を予定しており、第一避難所へのエアコン設置に係る予算は20億を超える事業費を計上している。

また、習志野市基本構想は令和7年度で終了し、令和8年度からの新たな基本構想が開始となる。

引き続き、市民の安全・安心につながる計画策定に努める。

【竹田 佳司 委員(習志野市総務部長)】

亀崎危機管理監と連携して防災対策の推進に努める。

【市川 隆幸 委員(習志野市企業管理者)】

第3給水場の廃止については、あくまでも平時の安定給水の拠点としての給水場を廃止するものである。

今回の地域防災計画の変更は、応急給水拠点としての位置付けを廃止するものであり、今後、災害時の給水車等を活用した応急給水については、被害状況に応じて施設跡地を含め、必要な場所で機動的に対応していく。

また、本市では八潮市で発生した道路陥没事故に伴い下水道管の独自調査を実施した。

今回の調査では異常は見られなかったが、地中の異変は確認が困難であるため、今後状況に変化が生じた場合は、道路管理者等と連携して対応する。

【小熊 隆 委員(習志野市教育長)】

防災教育は関係機関と連携し、繰り返し訓練等を行うことが重要である。

学校職員が地域と連携が図れるよう努める。

【遠藤 良宣 委員(習志野市副市長)】

来年度の総合防災訓練は、バイアスを取り除き、炊き出し訓練の実施や地域のこども及び保護者等の協力を促し、一人でも多くの方が防災訓練に参画できるよう危機管理監等と調整する。

【亀崎 智裕 委員(習志野市危機管理監)】

川谷委員から要望のあった「防災マップ」の改訂については、検討する。

その他委員からの意見・要望についても、反映させ、防災力の向上に努める。

【宮本会長】

町会・自治会といった住民自治に関わる方より、具体的な意見が各機関等に伝わった機会となった。

本日の会議を契機に、各委員と懇親を図っていただき、いざという時に連携できる関係を構築していただきたい。

<令和6年度習志野市防災会議の閉会を宣言>

上記のとおり令和6年度習志野市防災会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長より指名された出席者2名が署名(及び押印)する。

令和7年 月 日

会議録署名委員_____

会議録署名委員_____